

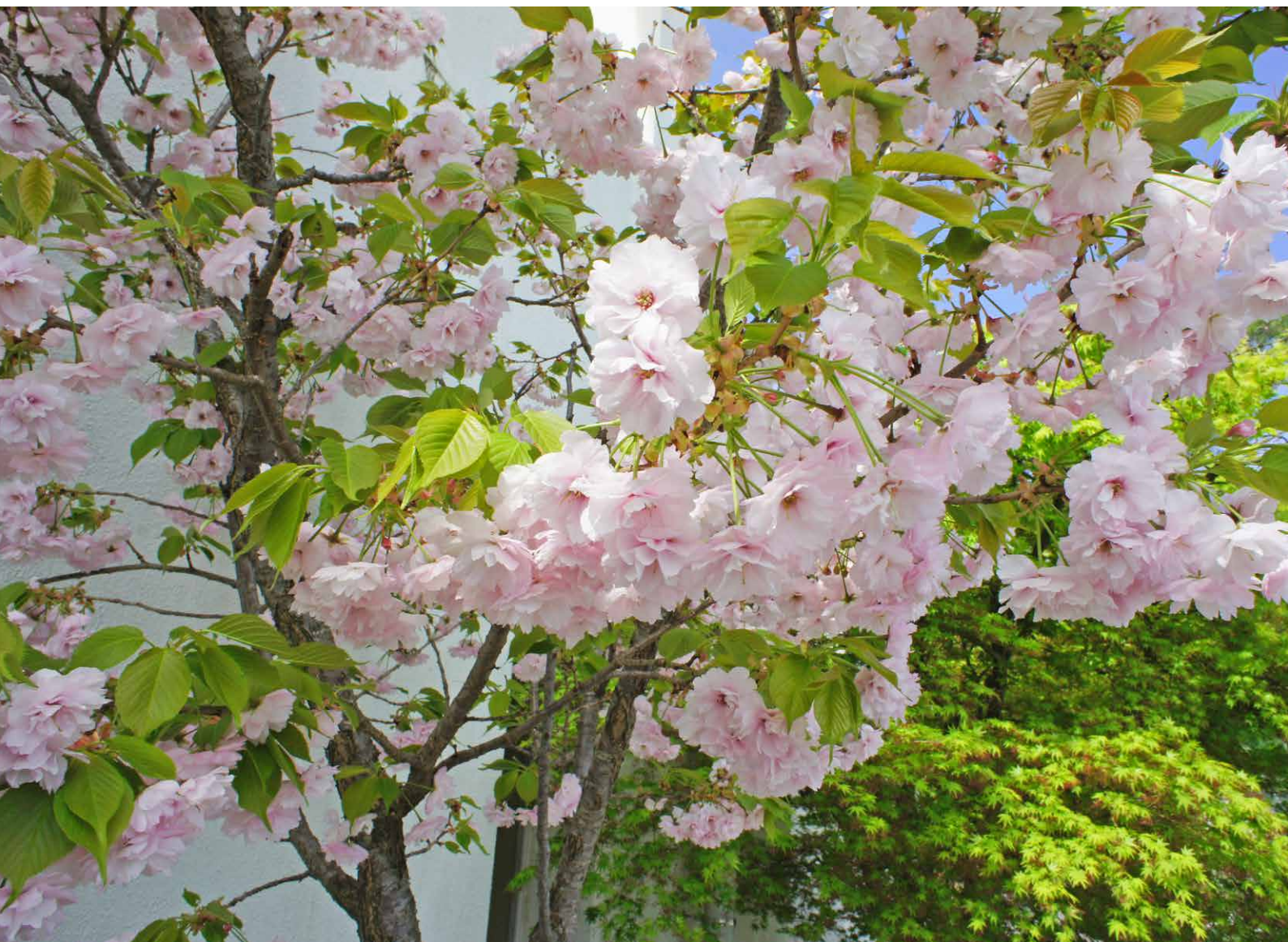
増穂だより

vol.216



芝浦工業大学柏中学高等学校 〒277-0033 千葉県柏市増尾700番地
TEL : 04-7174-3100(代) FAX : 04-7176-1741
URL <http://www.ka.shibaura-it.ac.jp/>

■編集／芝浦工業大学柏中学高等学校 総務部
■発行日／令和元年5月11日 発行
■印刷／株式会社横浜総合写真



Contents

■巻頭（学校長）……………	2P	■各部情報（事務室／図書室／保健室／クオレ） ／教科情報（国語／社会）……………	6P
■挨拶（副校長／高校教頭／中学教頭 ／高校教頭補佐／中学教頭補佐）……………	3P	■教科情報（数学／理科／保健体育 ／芸術・技術家庭・情報／英語／売店）……………	7P
■各部情報（教務／生徒／総務） ／SSH海外研修報告／SSH探究発表会……………	4P	■学年情報（中学）……………	8P
■各部情報（進路／入試広報／研究部 ／厚生／情報教育／情報企画）……………	5P	■学年情報（高校）……………	9P
		■PTA情報／後援部情報……………	10P
		■中学卒業式／31年度入学式／あとがき……………	11P

西暦とメートル法

学校長 野村 春路

今年は元号が「平成」から「令和」に改元され、日本の元号制度の歴史や年を数えたり記録したりする紀年法について話題になることが多い年である。現在、日本では元号と西暦を併記・併用することが一般的となっているが、ここでは西暦について、述べてみたい。

主だった宗教圏においては、それぞれ独自の紀元を持つ紀年法がある。イスラム教圏におけるヒジュラ暦（ヒジュラ紀元）、仏教圏では仏教暦（仏滅紀元）、ヒンドゥー教のヒンドゥー暦などである。その中で西暦は、キリスト教圏から生み出されたイエス・キリストの生誕を紀元とする紀年法であり、日本ではこのキリスト紀元暦を「西暦」と呼称している。

このキリスト紀元暦が、いつごろ考え始めたかというところと6世紀のことである。当時キリスト教のローマ・カトリック教会が、キリスト教の重要な祝祭である復活祭（英語ではイースター）の日を再定する必要から新たな紀年法を考案するに至ったのである。それ以前は古代ローマで使われていたローマ建国紀元やローマ皇帝の即位年から始める暦が存在し、西ローマ帝国が滅亡した5世紀後半以降も広くローマ暦が使われていた。それに対し、ローマの神学者ディオニュシウス・エクシグウスは、キリスト教徒を迫害したローマ皇帝を紀元とする紀年法ではなく、「主の体現より」の紀年法を考案した。彼が算定したその年はイエスが誕生してから「525年」のことであった。これが教会内で広く使われるようになるのには大分時間がかかり、イングランド教会の活動やフランクのカール大帝の時代を経て、ようやく10世紀後半から、ローマ教皇庁の文書にキリスト紀元が記されるようになった。そして10世紀末までには、西ヨーロッパにキリスト紀元が定着した。ただし、西ヨーロッパの俗社会で一般化したのは、さらに下って15世紀以降であるという。

ここまでのキリスト紀元において、注意しておきたい点は、あくまでも「主の体現した年」を原点としているので、「キリスト前（BC = Before Christ）」という年号は問題としないということである。

この「紀元前」の確実な事実が解明されていくにつれ、それらを算定し、人類の歴史全体を貫く時間の目盛りを記して行くことが必要となってくる。ここで大きな役割を果たすのが、啓蒙主義思想である。啓蒙主義者は、17世紀後半から18世紀にかけてイギリスやフランスを中心に、理性を重視し、人間本来の理性による思考によって、自然や社会を見直すことを行ったのである。ニュートンをはじめとする科学革命やカントに代表される近代哲学の勃興はこの流れの中にあった。そしてこの啓蒙主義者たちは、人間の世界観を定めていたキリスト教教会とは鋭く対立することとなり、「聖書」についても誤りのない絶対的な権威の書物ではなく、歴史的な文書として研究対象とした。その結果、教会が守って来た聖書が描く年代が絶対的根拠を失い、崩れたのである。

このあと、啓蒙主義者たちが、年代表記の方法でキリスト紀元を使い続けたことは不思議に感じる点であるが、簡単に言えば、すでに判明している蓄積された歴史的年号を生かしながら使える、キリスト紀元に代わる便利な表記法が見つからなかったということであろう。それに対し、キリスト紀元は使うが、キリスト紀元の宗教的原点の力を無力化する「紀元前」の概念を持ち込み、キリスト紀元の表記法を中性的・数学的年号の数直線としたことこそが重要であった。「西暦」は、キリスト教的意味を失い、未来に向かって過去に向かって、無限に延長できる時間軸となったのである。そしてこのような「西暦」が成立したのは、18世紀末、フランス革命の頃である。

さて同じ頃、フランス革命期に、メートル法も成立している。メートル法は、イギリス・フランスを中心とする西欧諸国による世界の一体化が進んだ18世紀に、世界で共通に使える統一された単位制度の確立を目指して考案された。それは、人間の身体を尺度としたものではなく、地球そのものを基準としており、地球の北極点から赤道までの子午線弧長の「1000万分の1」として定義される長さを「メートル」とし、そこから度量衡が制定されたのである。メートル法の背景には、グローバル化があり、そこで起こった商取引における必要性から生まれたものであるが、理性的な分析に基づいた基準の制定という啓蒙主義的な思考が底流にはある。

つまり「西暦」と「メートル法」は、18世紀末までに成立した2つのグローバル・スタンダードであり、啓蒙主義という1つの土壌から咲いた2つの花であると例えてよいであろう。

これを踏まえれば、21世紀において世界共通で使われる紀年法は、必然的に脱宗教化し世界標準となった「西暦」となる。ただし、世界の非キリスト教文化圏では、まだ「西暦」に対して、キリスト教的要素を感じることがあるので、AD（Anno Domini: 紀元後）をCE（Common Era、「共通紀元」の意）へ、同時にBC（Before Christ: 紀元前）をBCE（Before Common Era）に切り替える動き、すなわち「共通紀元」への取組が、世界で広まってきている。

【参考文献】

本稿は、以下の書籍をもとに執筆した。

岡崎勝世『聖書 vs. 世界史』、講談社現代新書、1996年

同『世界史とヨーロッパ』講談社現代新書、2003年



40周年

副校長 久保田 剛司

今春入学した高校生は40期生、すなわち本校（高等学校）は創立40周年を迎えます。1980年4月、第1回入学式が柏市民文化会館で挙行政され、376名の男子が第1期生として入学しました。入学試験は柏市立柏中学校の体育館をお借りして実施、高校棟も体育館もなく、中央棟のみからの学校生活のスタートでした。全員が集まれる広い場所はグラウンドしかなく、当然生徒総会も屋

思考力・判断力・表現力

高校教頭 松原 誠司

2021年度から実施される高大接続改革における学力の3要素の一つとして「思考力・判断力・表現力」が示されています。

ここでいう思考力とは、知識・技能を基にそれらを組み合わせるなど駆使して、解答を導き出すというものです。すなわち、思考力を展開するうえでは、知識・技能の習得が前提とされています。学習に即して考えると、ただ暗記などで知識を習得するだけではなく、その知識を使ってさまざまな問題を解

創造性の開発と個性の発揮

中学教頭 佐藤 文博

昨年、一昨年と中学1年生の皆さんと共に勉強しました。皆さんの授業や学習に対する姿勢の素晴らしさに改めて驚きました。「この子たちをより大きく伸ばしていくためにどのような授業が適切か」「主体的にどんどん勉強したくなるような授業とはどのようなものか」もっと私自身が勉強しなくてはいけないと痛切に感じました。生徒の皆さんが勉強を続け、視野を広げ

桜の魅惑

高校教頭補佐 中村 圭

「世の中に 絶えて桜のなかりせば 春の心はのどけからまし」これは在原業平が詠んだ歌で「この世の中に桜の花がまったくなかったら、春を過ごす人の心はどんなにのどかなことだろうに」つまり、桜の花があるから、散ることの心配や名残惜しく落ち着かなくなると言っています。反語的に桜の魅力を詠んでいるのですね。

新入生を迎えて

中学教頭補佐 三輪 剛史

今年も初々しい新入生が入学してきました。始業式の入場に拍手をする2・3年生の表情を見ると、「かわいいね、小さいね」と語っているようでした。毎年繰り返されるこの光景ですが、自分の1年前2年前を重ねてその間の成長を振り返る瞬間でもあります。教員側も同じ風景を見ながら過去を振り返り、毎年本校の教育をより良い方向へ舵を切ることを繰り返してきました。

挨拶

外でした。それでも、先輩もいない新設校に入学してきた1期生は開拓者精神に溢れ、無い無い尽くしの中、秋には第1回文化祭開催にこぎつけます。当時新柏駅は存在せず、木造平屋だった最寄駅の増尾駅や学校の所在地名である増尾に因んで、「増尾」の「尾」を実りの稲穂の「穂」に置き換え、「増穂祭（ますおさい）」と命名しました。以来、11年目に共学化、20年目に中学校を併設し、現在に至ります。中学校・高校の新入生の皆さんが、「シバカシ」にどんな1ページを付け加えてくれるのか、楽しみにしています。

決していく能力が求められているのです。この思考力に基づき、その正誤や賛否を判断し、場合によってはそれを相手にわかりやすく伝える能力が、判断力・表現力というわけです。

本校では、従来からWebコンテンツやプレゼンテーション、自分史、ディベートなどこれらの学力につながる取り組みを行ってきました。授業やテストにおいても、これらを重視する展開や作問を意識しています。

これらの学力が重視される背景は、社会に出てから必要な能力だからです。日常の本校の生活のなかで、これらの学力は身につけていきます。そのためにも、日々の学校生活を大切に送る必要があります。

てゆく先に新しい可能性があり、新しい個性の発見があると思います。中学生・高校生という珠玉の時を無駄に過ごさないように共に頑張っていきたいと思います。皆さんのまわりにいらっしゃる大人の方は、それぞれの経験から皆さんに適切なアドバイスをしてくれるはずです。自分の可能性を広げるために、まわりの大人の方をよく見て、自ら進む道の目標にしてください。我々大人も皆さんに負けないように向上心を持ち続けます。お互いに切磋琢磨して、成長していきたいと思います。

今年の桜は開花が早く、特に満開は各地で記録的な早さだったそうです。毎年春を迎える季節になると、今年の桜の開花はいつだろう。公園の桜、週末の桜祭りまで散らずに頑張っしてほしいね。などと考えてしまいます。日本人は昔も今も桜の魅惑に翻弄されているかもしれません。

令和元年を迎え、「万葉集」の「梅花の歌三十二首の序文」も話題になりましたが、皆さんも和歌を楽しんでみてはいかがですか。最後に「桜」でもう一首「久かたの ひかりのどけき春の日に しづ心なく花のちるらむ」（紀友則）

中学1期生から始まった一人一台のパソコンも、巷では現在決して珍しいものではなくなり、ICT教育は小学校から当たり前のものとなってきました。本校ではこの取り組みをWebコンテンツへの参加へ生かし（昨年は中学3年生チームが見事金賞に輝きました。）、教室環境としては一昨年より各教室に整備されてきたワイド（短焦点プロジェクター付ホワイトボード）を積極的に活用し教員と生徒の連携・相互通信の形を形成し、視覚聴覚からの授業を展開しています。先進的にICT教育に取り組んできた本校は、時代の課題に眼を向けながら、さらに進化を続けていきたいと考えています。

各 部 情 報

教務部

よりよい学習環境の整備にむけて

今では目新しいことではなくなってきた学校教育現場での ICT 環境整備（PC・テレビモニター・プロジェクターなど）ですが、本校でも一昨年より中学校舎教室、今年度には高校1・2年生教室へ短焦点プロジェクター付ホワイトボード（ワイード）が設置されました。教員側も IT 端末を使用した効率的でわかりやすい授業、楽しく学べる工夫を日々研究しています。

新年度の平常授業が始まり、4 週間が過ぎようとしています。例年、全学 37 クラス分の時間割編成は、作成に2 か月余りを要します。教科、学年の学びの目標を達成できるカリキュラムを編成するため、ぎりぎりまで考えつくしています。生徒の皆さんの1 年間が実りのある一年になるよう環境を整えていきます。皆さんには、この環境に身をおき、可能な限り環境を駆使し、自身の能力を伸ばしていったほしいと願っています。

SSH 海外研修報告

'18 Science Tour in Viet Nam

「将来 科学技術分野で活躍する人材、またグローバルに活躍できるコミュニケーション力、国際性を備えた研究者を育てること」を目的として、2019 年3月にベトナム Ha Noi で研修を実施しました。期間は4日間で、現地の学生との交流、ベトナムの経済発展や環境保全に尽力している日系企業を視察、そして Ha Noi 資源環境局への訪問を行いました。

FPT 大学・高校では、自然環境に関するテーマを3つ取り上げ、FPT 高校の生徒とディスカッションを行いました。また、本校生徒がプレゼンテーションを行った後、各テーマについて討論し理解を深めました。日系企業への視察・訪問では、研究室や現場を視察すると共に現地の人と協働している方に講義をいただき、国際社会で働くことについて話し合いました。Ha Noi 資源環境局では、ベトナムのごみ問題と環境問題への取り組みを学びました。

伝えることの難しさと大切さを実感し、国際協力とは何かを学んだ充実した研修となりました。



生徒部

新年度の開始にあたって

2019 年度も始まって4 週間が過ぎましたが、お子様方も元気に登校していることと思います。

年度当初において、生徒の皆さんには、まずはきちんとした生活習慣を身に付けて欲しいと思います。きちんと睡眠をとる、食事（とくに朝食）をきちんととる、毎日学習する習慣を身につけるなどです。とくにスマホの利用は気をつけましょう。だらだらといつまでも使い続けないようにけじめをつけましょう。それから、挨拶をしっかりしましょう。挨拶こそが良好な人間関係を築きます。そして、時々はこの自分はどうかろうと振り返ってみましょう。

保護者の皆様には朝の登校時にお子様の具合や服装などの様子を見ていただければと思います。

一年間、生徒の皆さんが健康で充実した学校生活を送れるように、教員も協力していきたいと思っています。

総務部

総務部報告

4月13日に6学年同日開催で保護者会がありました。その際各クラスにおいて PTA 幹事を選出して頂きました。あらためて文書でご案内いたしますが、新年度の態勢に向けて、最初の幹事会が4月20日(土)に開かれ、その翌月の5月11日(土)にPTA 総会が開催される予定です。

また、幹事になられていない方でも、花壇プロジェクト、仕事塾、文化祭ボランティアなどの活動に参加していただくことで、学校の様子を知ったり、保護者同士の交流の場が広がりますので興味のある方は、PTA 本部の方から参加募集のプリントが出ますので積極的にご参加ください。

今年の芸術鑑賞会は11月13日に中学が狂言を、高校が歌舞伎を鑑賞する予定です。チケット代は各学年とも学年経費に組み込んで頂戴いたします。本校の芸術鑑賞会は現在のところ音楽鑑賞、演劇、歌舞伎の3年ローテーションで進めております。

SSH 探究発表会

GS・SS における課題探究の総決算

GS I・II、SS I・IIで1年間（高校1年生は半年間）かけて取り組んできた成果を外部で発表しました。千葉工大津田沼キャンパスで行われた千葉県課題研究発表会には物理3チーム（11人）、化学4チーム（12人）、生物3チーム（7人）が参加し、東海大学高輪キャンパスで行われた関東近県 SSH 校合同発表会には物理10チーム（30人）、化学15チーム（38人）、生物12チーム（29人）、数学5チーム（18人）が参加しました。

どのチームも2月23日に本校で開かれた成果報告会でのアドバイスを生かした発表を行っていました。



各 部 情 報

進路部

今春大学入試状況

今年度の合格実績は、東京大学3名、東京工業大学2名、旧帝大2名、千葉大学医学部1名を含む国公立46の実績がありました。一方、私立大学は定員厳格化のあおりを受け、全国的に難化傾向がさらに進み、本校も大苦戦した結果となりました。2年前から続く文高理低の傾向（正確には理系が易化したわけではなく文系の難化が著しくなり文理を比較しての理低）は今年も続き、早慶上智はもちろんGMARCHの中でも特に明治、立教あたりの難化が顕著となりました。大学側も補欠を大量に出し、繰り上げ合格が3月末まで続くという異例の事態が昨年に引き続き起こりました。2019年度はセンター試験最終年となり全国的に安全志向が働いたり、公募推薦、AO枠の増加によって一般入試のさらなる激戦が予想されています。とはいえ日頃の学習の積み重ねが合格につながることはいうまでもありません。的確な情報を収集しつつ周囲に惑わされることのないよう、学習習慣の改善をはかりながら学習に取り組んでいきましょう。

厚生部

新学期のスタートに

皆さん、入学・進級おめでとうございます。厚生部では、福祉委員や保健委員の活動を支援し、保健室や教育相談室（クオレ）の運営を通して、生徒や教職員が健康で安全な学校生活を送ることができるよう、サポートしています。

新学期は緊張感を伴う忙しい日が続きます。意識的に身体と心を休めるようにしましょう。私たちは目に見えるものを追いがちですが、空気や言葉や気持ちなど、目に見えないものも大切に過ごしたいですね。十分な栄養と睡眠、休息をとって、心身共に健康で充実した学校生活を送ってください。

中学高校時代は、身体の変化が著しく、大きく発達する時期です。集団生活を通じて心も成長するでしょう。不安や心配なことがあれば、身近な友達や先生に相談してください。芝柏での皆さんの活躍を応援しています。

入試広報部

入試広報活動

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。また、数多ある学校の中から本校をお選びいただき、ありがとうございます。

昨年度の学校内実施の説明会では、生徒会役員の生徒達の協力もあり、多くの受験生や保護者の方に本校のよさを伝えることが出来ました。また、増穂祭ではPTA主催の芝柏PRコーナーに会場した受験生の保護者から「学校生活などを丁寧に教えてもらえました」との声も聞かれました。おかげさまで、今年度の入試も中学第1回・第2回・第3回、高校前期第1回・第2回のすべての試験で志願者数が昨年度に比べて増えました。これも、先生方や在校生、卒業生の活躍や保護者の方々のご協力のおかげだと思います。

今年度も、教員、生徒、保護者の皆様の協力を得て、学校説明会などの入試広報活動を運営していきますので、よろしく願いいたします。

情報教育部

Web コンテストに積極的に参加しよう

昨年度のWeb コンテストでは、「LGBT～個性を尊重しあえる社会～」が最優秀賞・文部科学大臣賞（中学高校合わせた全体での1位）／プラチナ賞を受賞しました。このコンテストには中学校創設以来毎年参加していて毎年何らかの賞をいただいています。作品のテーマの決め方ですが、自分の将来を意識して決めていきます。生徒がよく選んでいるテーマに「心理学について」というものがあります。文系理系どちらなんですかね。調べ学習を進めていくと思っていたこととは違う数学や統計学といったものがいっぱい出てます。はじめはなにか人間について分かりやすく知ることが出来るものかと思っていましたが現実にはごく一部で最終的には興味を失うことが多いようです。また逆もあります。コンテストにのめり込んで活躍したOBの中には有名大学や企業で活躍している人もいます。Webコンは自分の進路決めに大きく影響します。是非積極的に取り組んでみてください。

研究部

主体的・対話的な学びを大切に

SSH指定2年目を迎えました。

今年度も、“Creative Studios and Communicative”《創造力を発揮し、粘り強く取り組み、その成果を積極的に発信する》を目標として、各プログラムを実施します。GS・SS特設授業、中学校の夏期自由研究、Web コンテストテーマ研究など、積極的、かつ徹底的に“探究”に取り組んでみてください。特別講義やSSH海外研修、各種発表・交流会なども昨年と同様に行います。

広く興味関心を持ち、自ら課題を設定し、試行錯誤しながらも粘り強く向き合い、纏め上げ、更には発表、ディスカッションといったプロセスを経験することで、課題発見力、論理的思考力、連携力、批判的思考力、表現・発信力を鍛えましょう。また、普段の授業においても知識を得ることにとどまらず、常になぜ、という探究の姿勢で臨み、主体的、対話的な学び方を身につけ、社会に出てからも自ら成長し続ける人材となって貰いたいと考えます。

情報企画部

今年の情報企画部

情報企画部は行事や部活などの最新情報を中心に学校のホームページを更新しています。

パソコンからもスマートフォンやタブレットからも見やすいホームページを目指して昨年度より、増穂だよりの記事をpdfデータでアップしています。

また、昨年度からSNSでの情報発信も始めました。LINE @は本校の中学・高校入試の情報を中心に発信しています。Twitter、Instagramでは学校生活の一部を写真で切り取って発信しています。

今後も、生徒の皆さんの活躍の様子を随時紹介していきますので時間があるときにはぜひホームページを覗いてみてください。



各部情報

事務室 事務室からのお知らせ & お願い

1. 生徒の皆さんに対しては、優しく親切に！をモットーとしつつも甘やかさないという基本姿勢を崩すことなく、継続的に事務室を運営してまいります。
2. 春休み期間中の高校棟普通教室への超短焦点プロジェクターつき汎用白板の設置工事は、おかげ様で無事終了しました。
3. 前期期間（4～9月）中、月～金曜日の窓口受付時間を18:00まで延長します。平日18時以降の証明書発行はできかねますので、申請・届出等は、“こすっても消えない”インクの出る筆記用具で所定の用紙に必要事項を記入のうえ、早めにごください。ちなみに、土曜日の窓口対応は原則14時までとなります。
4. 事務室に入るときは挨拶しましょう。

保健室 健康診断は自分の体を知るチャンス

健康診断の目的は、自分の体の発育・発達の様子を知る事や、体に不調がないかを調べ、病気の早期発見・早期治療につなげる事です。自分の体の事を知る事は、生きていく上でとても大切です。健康診断を「自分自身を知るチャンス」として、活用してみてください。

学校で行う健康診断は確定診断を行うものではなく、心配や疑いのある疾患を選び出す「スクリーニング（選別）」です。健康診断の結果、異常や病気の疑いがある人には、随時、手紙で通知を行っていますので、早めに医療機関の受診をしてください。受診報告書がついていた場合は結果の報告をお願いします。

自分の体をメンテナンスして、健康に1年を過ごせるようにしましょう。

図書室 図書室の利用について

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。図書室の場所は覚ええましたか。図書室は授業のある日は毎日開室しています。司書は2人体制で、どちらかがいつもおりますので質問等あれば、お気軽にご相談ください。

今年度も沢山の新着図書を揃えてお待ちしております。

◆開室日：月～土

◆開室時間：9：00～17：00

◆貸出冊数と日数：1人2冊 1週間

※長期休暇は開室日時、貸出冊数・日数が変更になります。詳しくは休暇前にお知らせいたします。

図書室は飲食禁止です。

図書の貸出・返却は必ずカウンターで手続きをしてください。近年、無断持ち出しによる不明本が多くなっております。みなさんの図書です。ご協力をお願いいたします。

クオレ 相談室「クオレ」の利用について

「クオレ」は芝浦柏の相談室のことです。イタリア語でcuoreと書き、「こころ」という意味があります。さらに、「勇氣・元氣」という意味も含んでいるそうです。言葉の意味の通り、生徒のみなさんの心が元気になるお手伝いができれば、と思っています。

クオレでは、生徒のみなさんだけではなく、保護者の皆さまからのご相談にも応じています。相談は、予約制となっています。予約の申し込み方は、
①担任の先生や学年の先生に申し込む
②保健室に申し込む
③カウンセラーに直接申し込む

面接時間は、初回は90分ほど、2回目以降は60分ほどの時間をとり、お話をうかがっています。来校が困難な場合は、お電話での相談にも応じています。

カウンセラーの来校日につきましては、「保健だより」に掲載されていますので、ご確認ください。

教科情報

国語科 「令和」の時代に

新しい時代がやってきました。新元号「令和」が発表されてから、一躍脚光を浴びた「万葉集」ですが、皆さんも一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。

元号が日本の古典からとられたのは初めてです。「令和」は梅花の歌の題詞ですが、採択された部分の続きにこうあります。「若非翰苑、何以摭情。（もし、ここに文章がなかったら、どうやってこの気持ちを表現できるだろうか）」。文章やことばがなければ、誰かと楽しい気分や美しいと感じる心などを共有することはできません。それは万葉の時代も千二百年後のこの「令和」の時代も変わらないのです。

ぜひ、この新しい時代に自分の感動や感情をことばにして発信してみましょう。きっと誰かとつながり、誰かとその気持ちを共有できるはずですよ。

皆さんが、ことばを、国語を、大切にしてくれることを願います。

社会科 芝柏社会科の取組み

今年新たに菅原先生、甲藤先生を迎え総勢11名で生徒達に向き合う授業を目指します。板書を書き写すだけの受動的な授業からの脱却し、授業プリントを題材に考察・意見交換・発表する形式も心掛けます。現高2から始まる共通テストを見据えて、中学生段階から資料（史料）の読解、記述説明を今まで以上に重視します。新聞ノートや環境地図に加え、中3での論文作成の取り組み、さらにはニュース検定なども紹介し、生徒達の様々な興味・関心を喚起します。また、社会情勢をわかりやすく解説する「しばかし社会科通信」を半期に1回発行し、生徒達に世の中に目を向けるきっかけを提供します。

教科情報

数学科 数学の自由性とは

19世紀に活躍したカントールという数学者がいます。彼は「直線上の点の数と平面上の点の数が同じである」という、一見不思議なことを論理的に示しました。それは当時、周囲からは全く受け入れられないような新しい考え方でしたが、現在では高校1年の教科書にも出てくる基本的かつ大切な理論になっています。百数十年前、歴史上では最近の出来事です。当時、批判を浴びたカントールは、その批判に耐え続けながら、次の言葉を残しています。

「数学の本質は、その自由性にある」

皆さんは数学の学びから、数学の自由さを感じることはありますか？それとも、提出課題に縛られてばかりと感じていますか？

SSH指定の2年目、数学の自由さを感じられるような学びを大切に、日々の授業、探究活動や課外活動に取り組んでいきます。

芸術・技術家庭・情報科 五感で感じて

芸術、技術、家庭、情報科の合同教科主任の江森です。私たちの教科は実技系の教科で一般的な主要教科とは少し違った側面を持っています。しかし人間の作り出す文化と言う大きな括りでは数学も理科も社会も英語も国語も体育も文化と言えます。さらに文化の一つであると意識しながら主要教科をとらえると、イメージや理解の深まりがあります。

私たちの教科では、感じる心、感受性が一番大切になります。先ず脳で理解や記憶する事ではなく、目で味わい耳で聞き入りながら感じる、または肌で感じ、心で受け止めます。五感で感じ心で受け、表現は身体を使って表します。

この様に人間の多くの機能を使って、表現に結び付けるのが芸術であります。芸術で養った、個性、発想力、自由な感性は今後の社会では必要とされるでしょう。

理科 基礎学力⇄探究力

本校の理科では、実験・観察や問題演習を通じて様々な現象への理解を深めることに最も重きを置いています。これらの活動をバランスよく行うことが、基礎学力と探究力を効果的に育成することにつながると考えています。

理科の学習を通じて得られた科学的思考力・表現力、観察・実験の技能、いわゆる「探究力」は、将来どのような進路を選択するとしても必ず役に立つと考えています。

今年度は第2期SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の2年次にあたります。昨年度、指導方法・体制を見直した高1対象の「GS I」、「SS I」、新たに連携先を増やして取り組んだ「特別講座」をさらに深化させていく予定です。より充実した理科教育を通じて、生徒の皆さんの学力向上を支援していきたいと考えています。

英語科 学習指導要領改訂に際して

学習指導要領が変わるたびに現場は大混乱し慌てふためくことを繰り返してきた。教科書が変わり、それに伴う副教材も変わる。当然教え方も変えなければいけないと思い込んだ人々は途方に暮れる。特に「英語は英語で教えることを基本とする」などと言われた日には今までの蓄積が無に等しいと思った人々もいるかも知れない。でも立ち止まって考えてみると、なぜ世の中はこんなにも大騒ぎするのか不思議に思う。本来英語は言葉である。使えて初めて価値が出る。大学受験のためではない、使える英語の習得を目指して日々努力を続けている本校の教員からすれば理解に苦しむ混乱ぶりである。



保健体育科 競争から“共創”へ

今年度も体育や保健の授業において“運動の楽しさ”を伝えていきます。運動が好きになれば、身体を健康を増進することができます。ただ運動をするだけでなく、健康な身体作り方や体調管理の方法も伝えます。“健康な身体（心も含む）”があれば、時間を多く作り出すことができ、勉強はもとより様々な能力をより高めることが可能になることでしょう。また、スポーツを通して、競争する力はもちろん、“共創”する力を育てていきたいと考えています。勝ち負けを意識した競争も成長する上で必要ですが、一歩進んで“共に創り上げていく力”も必要です。ハード面では、第1グラウンドのミスト付き人工芝化（6年前）、第3グラウンドの新設（4年前）、グラウンドLED照明設置（1年半前）など、体育施設の大きな改善も進んでいます。体育道具の量も多いので、限られた時間で運動能力も向上させることができます。運動は楽しいです。共に運動を楽しんでいきましょう。

エスアイテック（売店） 新たな一年のスタート

新入生、在校生の皆さんこんにちは。新学期がスタートし、早くも1か月が経過しましたね。新入生の皆さんは、新しい環境に慣れるため一生懸命で、在校生の皆さんは、新入生を迎えるにあたり、ドキドキワクワクしたのではないのでしょうか。

さて、今回皆さんに、売店の事を少しご紹介させて頂こうと思います。

普段、皆さんが目にする売店。お昼のお弁当や、パン、ノートや消しゴム等、日常使う物を購入しに来店されますよね。私達売店スタッフは、皆さんが日々楽しく、そして不自由のない学校生活を送ってもらえる様、商品の品揃えを充実させたり、時にはパンの業者さんに商品の見直しをお願いしたり、また、お弁当も最近はモリモリ弁当を考案し、販売を開始しました。

これからは皆さんの近くで、ウキウキワクワクを精一杯の気持ちと共に届けて参ります。

中学：学年情報

中学 1 年 『ありがとう』に満ちた 1 年を願って

皆さん、例年とは違った改元の祝賀ムードに包まれた GW をいかが過ごしましたか?入学式、始業式、中学入学後初の模擬試験、そして授業開始に部活動への加入と怒涛の新年度を迎えた新中学 1 年生にとっては良い休息になったのではないのでしょうか。さて、中学 21 期生が入学して早くも一カ月が過ぎました。入学当初は友達もいなく不安な表情だった生徒達も日が経つにつれて明るい表情となってきました。しかし、未だに電車での通学に慣れなかったり、仲の良い友達が出来ていない生徒もいるかもしれませんが、人の成長や個性は 202 人いたら 202 通りあります。焦らず中学校生活に慣れていきましょう。そして、前回も触れましたが、少しずつ良いので自らの意思で決断し責任を持って行動できる中学生になってもらいたいと願っています。皆さんにはお互いを認め合って生徒達自身が自分達の手で『Team 21 期』を盛り上げる、そんな中学校生活を過ごしてもらいたいと思います。日頃からお互いに感謝の気持ちを抱くようにと学年便りのタイトルも『ありがとう』と名付けました。

さあ、10 日後にはグリーンスクールが実施されます。21 期生初の校外学習です。尾瀬ブナ平での自然観察、芝浦創造の森での体験学習、飯盒炊爨など皆で協力して楽しく充実したものとなるのでしょうか。楽しみですね。また、事後学習として高枝新聞の作成やグリーンスクールで学んだ内容のプレゼンテーションも行います。そして、6 月 3 日・4 日には初の定期試験も行われます。

通学や学習、部活動、行事と疲れがたまり易くなりますが、生活のリズムを確立して中学校生活で最も大切である中学 1 年生のスタートを切ってもらいたいと思います。ご家庭でもお子様の体調をはじめ何か気になることがありましたら連絡を頂きたいと思います。6 年間よろしく願い致します。

最後に、令和元年は『ありがとう』に満ちた 21 期生の始まりの年となることを願っています。

中学 2 年 2 年目を迎えて望むこと

芝柏での 2 年目がスタートしました。始業式は新クラスの発表があり、生徒たちは期待と不安を持ちながら登校したかと思います。新クラス発表のコモンスペースでは、興奮気味の生徒たちで溢れ、新クラスに一喜一憂する姿が見られました。この新たな出会いを大切に、教室でも仲間を尊重し、認める気持ちを持ち続けてくれることを願います。その後の学年集会では、自分たちでけじめのある雰囲気をつくることができ、また新入生に向けた部活紹介でも、多くの 2 年生が各々の部活の良さを堂々とアピールする姿に、この一年間の成長を感じ、嬉しく思っています。

今年度は後輩も入学し、中核を担う学年として、部活動や生徒会、学校行事等での活躍が期待されます。昨年度とはまた異なる 2 年生なりの役割もあるでしょう。1 年先に芝柏生活を送っている先輩として、周囲の状況に気づき、その場に適した行動がとれるようになることで後輩に対して生活、学習でのよい手本となしてほしいと願います。また、来年に最上級生になる学年として、3 年生を支えながら先輩たちの姿に学ぶことも必要です。6 月には日本文化の研修が予定されています。次年度のニュージーランド短期留学に向けて、日本の歴史や伝統文化に触れて学び、日本を知らない異文化の人々に伝える力を 2 月のイングリッシュキャンプで養ってほしいと思います。その他にも、Web コンテストの参加や職場体験など、自分の探究に繋がる行事が予定されています。様々な経験を通して自分の世界を広げて、夢中になれるものや目標をしっかりと見つけていける一年になってほしいと願います。さらに今年度は、思春期による体調、気持ちの変化が起こりやすい時期でもあります。ご家庭でも体調をはじめ、その他お気づきのことがありましたら共有させていただき、ともにお子様を見守っていきたいと思います。宜しくお願い致します。



中学 3 年 ともに最高の 1 年に

最上級生としての 1 年が始まり、1 ヶ月が過ぎました。始まってみると不思議なもので、初々しい新入生との比較が一層そのように思わせるのか、体つきも顔つきもとても頼もしい先輩に見えます。あとは「心身ともに」を目指し、中身を伴わせる努力をこれからも続けてほしいと思います。目の前に 1 つ 1 つ気持ちをを入れて取り組む、先の先まで見越して行動する、周りに気を配る余裕を持つなど、1 年前には難しかったことが、今ではできている、あるいはできるところまで来ているはずです。今後は今まで以上に皆さん一人ひとりの誠実でひたむきな姿を遠くから見守る 1 年にしたい、と私は思っています。

さて、今年度前半の一番の関心事は 6 月のグアム研修旅行でしょう。学ぶことと楽しむこと、これらを両立させ充実した思い出深い時間にしたいものです。グリーンスクールや奈良・京都研修旅行でもそうだったように、今回も事前事後の学習が伴います。自然環境から日本文化、そして国際理解へとそれぞれの学びをしっかりとつなぎ、前期最後の文化祭で 1 つの集大成を目指してください。同時に、Web コンテストの準備もあります。昨年日本一のチームをまのあたりにしたいま、決して簡単ではないけれど、果てしなく遠い目標でもないはずです。目指すゴールが分かれば、レースの進め方も具体的に見えてきます。まずは、それぞれが昨年を大幅に上回る作品を目標に、真摯に取り組んでほしいと思います。そこから得られる知識や経験は賞以上に大きな財産になるはずです。

「思いやりと向上心」最終年。いまこの瞬間も時間は休まず進んでいます。



高校：学年情報

高校 1 年 チーム 40 期、スタートしました！

4 月 5 日春らしい穏やかな天候のもと、本校体育館で入学式が行われ、295 名が晴れて芝柏高校の生徒となりました。40 期の学年の教員は皆さんと一緒に学習できることを心待ちにしておりました。さて、高入生と中入生を混ぜてのアイスブレイクや、学習ガイダンスを終え、授業が始まった今、皆さんのあふれるエネルギーを感じ、これからの活躍が楽しみです。はじめをつけ、緊張感を保ちつつ、これからの 3 年間・・・いえ、3 年生になったらもう受験勉強しかないので、高校での生活は 2 年間、一緒に成長していきましょう。この 2 年間はとても短く、あっという間に過ぎてしまいます。部活も勉強もすべてにおいて、全力投球して下さい。何事にも一生懸命やる、カッコいい高校生を目指しましょう。「自分で想像できる世界の大きさが、自分の世界の大きさ」となります。自分の世界を広げるべく、これからの学校生活で何をしていくかを考えてください。一緒に世界を広げましょう。学年目標「対話」、学年便りタイトル「傾聴」。対話と傾聴を大切に、成長していった欲しいと思います。

ただひとつ、スマホの使い方には注意してくださいね。スマホに使用されることの無いようにしましょう。もし、困ったことがあったら、気軽に近くの先生に相談してください。きっと親身になって相談に乗ってくれることと思います。



高校 2 年 高校 2 年学年情報

日頃より、学年運営にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

本校では、中高 6 ヶ年を hop step jump と表現してきました。高校 2 年生はいよいよ jump の入り口に立ったということになります。二年後に大きな跳躍を成し遂げるのであれば、この一年でやっておきたいことが幾つかあります。

ひとつは自分の将来について具体化することです。学校では、Web コン、仕事塾、S S II、海外研修、オープンキャンパス、大学（研究室）見学など、大学での学びや将来の職業、生き方について考える機会を多く設ける予定です。ご家庭でも、保護者や親戚の皆様のお仕事やそのやりがい、そこにたどり着くまでのプロセスなどについて、たくさんお話しいただけると幸いです。

二つ目は、早目に受験勉強のスタートを切ることです。定員の厳格化などにより、大学入試はより厳しさを増しています。その中で第一志望から目標を下げずに勝負するためには、やはり一歩でも二歩でも早くスタートを切ることでしょう。まずは日々の授業を大切に、授業内での理解や記憶を心掛けて臨むことが、そのまま受験勉強につながることを意識すべきです。39 期生は、イブニング自習や面談週間などの自習時間をしっかり取り組むことができる生徒が多いのが特長です。3 点固定に加え、自分の勉強する場所を決めることができれば、より集中して取り組めるものと思います。

高校に入学してからまだ一年ですが、部活動や学校行事では中心となる学年です。三つ目は、個人では成し得ないことを、仲間と達成する喜びを知り、青春の 1 ページに刻めるような、素敵な一年としてほしいということです。



高校 3 年 充実した最高学年を送るために

3 年生の 5 月も 10 日を過ぎました。あと 1 週間もするとセンター試験まで 8 か月となります。いつも決まり文句のようにセンターまであと何か月と言うようになっていますが、これは焦らせるつもりではなく、今の自分をコントロールしながら、目標に向かって計画通り進んでいますか、という確認の意味で、これからも問いかけたいこうと思います。私たちが来年の 3 月まで、いかに充実した高校生活を送れるかは、①「毎日の計画とその日の振り返り」にかかっていると言えますし、②「不安要素を取り除く」ことも不可欠です。また③「どれだけ自信を持って進めているか」も重要です。

①については何をゴールとして見ていて、そのゴールから逆算してこの瞬間を決めているかどうかを確認してほしいと思います。これは勉強の事だけを言っているわけではありません。部活動や、自分の興味のある研究や、自分の将来就きたい職業など人によってさまざまです。そのゴールを見すえて 3 月までをどう過ごすかをイメージできることが重要です。より具体的なゴールが描ける人はより強いモチベーションにつながるでしょうし、持続すると思います。1 日 1 日をふり返り自分をほめることは必ずしてほしいと思います。②については学年集会でも今まで触れてきましたが、不安への対策はおそらく、皆さんを動揺させるような情報に振り回されないことだと思います。皆さんのクリエイティブシンキングを使って判断してください。情報のソースは確かなものか、メッセージの裏側に誰かが得をするような事が隠れていないか、誰から誰に対するメッセージであるか、客観的なデータがなく単なる感情的な意見ではないのかなど、あいまいな情報には耳を傾けないのが基本です。あいまいさが不安を呼ぶのです。③は上の①、②がしっかりできていれば自分はこれまでやってきたという自信が生まれるでしょうし、毎日の成長を、手帳を見ながら自分で確認できると思いますので、「自分是可以する」という思いは強くなるはずです。できると思わない限り成功はありません。ポジティブ思考で頑張ってください。

PTA 情報

2019 年度芝柏 P T A 活動開始です

はじめに、中学 21 期・高校 40 期の
新入生並びに保護者の皆様、ご入学お
めどうございます。また、在校生の
保護者の皆様には日頃より P T A 活動
にご理解・ご協力頂き、誠にありが
とうございます。今年度も、本校の生徒
達が充実した学校生活を送るための助
力となるよう、P T A は活動して参り
ます。

【芝柏 P T A について】

芝柏 P T A は「学校と家庭との関係
を密接にし、地域社会ともに協力をし、
生徒の正しい成長と学校の発展に質す
ると共に会員相互の研修親睦を図る」
ことを目的として活動を行っておりま
す。また、柏市内や周辺市町のみなら
ず様々な地域から通学されていること
から、日頃の学校や生徒達の様子に分
かり難いかと思われます。是非 P T A
活動を通じて、学校の雰囲気を感じたり、
保護者相互の親睦を深めたりして頂
きたいと思ひます。

なお、先日 4 月 13 日（土）の学年・
クラス保護者会にて、各クラスの幹事
を 4 名選出頂きました。それぞれご事
情があるなかで幹事を引き受けて頂
いた皆様には、本当に感謝申し上げます。
中学・高校合わせて計 37 クラス、約
1,450 名余りの生徒を有する芝柏です
ので、その学校と保護者との橋渡し役、
そして芝柏を陰ながら盛り上げて行く
のがクラス幹事の役目となります。ク
ラス幹事を中心として、各クラスの保
護者の皆様、教職員方、そして P T A
本部役員が連携・協力しながら有意義
な活動に行きたいと思ひます。

【活動の概要】

芝柏 P T A の定例行事としては、年
2 回程度クラス懇親会の開催、9 月
21 日（土）・9 月 22 日（日）に行わ
れる増穂祭（文化祭）へ P T A として
の各種出展、12 月 7 日（土）に保護
者向けに文化講演会の開催があります。
今年の講師は、池谷裕二先生（東京大
学大学院薬学系研究科教授）です。ま
た卒業学年である中学 3 年・高校 3 年

では巣立ちの会や卒業を祝う会も開催
します。これらの企画・準備・運営は
クラス幹事の皆様を中心に行って頂
きます。

その他に、どなたでも参加頂けるボ
ランティア活動として、二つの取り組
みを行っております。

一つ目は、生徒の働くことに対する
意識醸成や進路選択の一助としての
「仕事塾」です。年 2 回開催しており、
学校より全面協力を得て総合学習・キ
ャリア教育の一環ともなっております。
生徒の身近な人生の先輩として、保護
者の皆様から様々なアドバイスをして
頂きたいので、積極的な参加をお願い
致します。今年度は 7 月 13 日（土）
と 2 月 8 日（土）に開催予定です。

二つ目は、学校構内の美化活動とし
ての「花壇整備活動」です。愛称を「ぐ
りーんさぼーたあ」と申しまして、月
2 回程度・土曜日の午前中に活動して
います。花壇やプランターの整備など
を行っており、学年を超えた保護者間
の交流の場ともなっておりますので、
都合の良い日にご参加頂きたいと思
います。

これら二つの活動は、保護者の皆様
が学校に来られる機会が少ないこと、
特に男性の方は子供の通う学校につ
いて知る機会がほとんど無いことから、
一人でも多くの方に学校へ来て頂
きたいとの想いから始まりました。先だ
ったの保護者会でもこれら活動案内を配
布しておりますので、是非ご一読下
さい。

最後に、5 月 11 日開催の総会を以
て、本部役員が交代します。昨年度の
活動にて至らぬことが多かったかと思
いますが、ご容赦下さい。新体制にお
いても、引き続き P T A 活動へのご理
解・ご協力をお願い致します。



後援部情報

2018 年度活動報告

新学期を迎え、この度ご入学された
高校生 295 名、中学生 202 名の皆さん、
並びにその保護者の皆様、ご入学おめ
どうございます。

また、新しい学年に進級された皆
さんは新しい生活に心弾ませていらっ
しゃるでしょう。

さて、後援部の活動目的は、皆様か
らお預かりした後援部費を運用し、子
供たちがよりよい学校生活を送ること
ができるように、教育環境の整備及び
教育活動等の充実のための援助を行
い、本校の発展に寄与することです。
2018 年度も、学校の先生方、在校生お
よび卒業生の保護者で構成された評
議員会において、先生方から学校の現
状を伺い、また、増穂祭の後援部カ
フェ（憩いの空間）等々で保護者の
皆様の意見もお伺いしながら、更
なる設備の充実支援等を検討しま
した。

その成果として、高校棟廊下側カー
テンの設置、生物地学実験室前間仕
切設置、軽音楽部室エアコン設置、
サッカー・ラグビースコアボード、
ラグビーゴールポストラック、剣
道審判服及びサッカー審判服、
ヴィーナスポンポン等の支援を実
施しました。また、2018 年度から
再び本校が文部科学省 SSH（スー
パーサイエンスハイスクール）指
定校となったことから、SSH 横断
幕の設置を行いました。

平成 30 年度に PTA 会後援部に組
織替えし、さらに今年度は令和元
年と、時代の変化の真ただ中に直
面しておりますが、引き続き後
援部の今までの活動を土台として、
何より子供たちが生き生きと学
校生活を送ることができるため
の変わらぬ支援を続けていきたい
と考えています。

この度、芝浦工業大学柏中学高等
学校にお子様のご入学されてご縁
ができた保護者の皆様、及び本
校に係る保護者の皆様と共に、
本校が子供たちにとって在校中
だけでなく卒業した後も発展し
続ける為の支援をしたいと考えて
おります。皆さまには、PTA 会
後援部の活動をご理解いただき、
引き続きご協力をいただきたく、
なにとぞよろしくお願いいた
します。

■ 中学校 18 期生 卒業式 ■

去る 3 月 22 日、中学校 18 期生 186 名が卒業の日を迎えた。担任の呼名に
応えながらステージにのぼり、校長から一人ひとり卒業証書を受け取った。

式の終わりに歌われた「旅立ちの日に」には、卒業生の本校での 3 年間の
充実した時間が凝集していたように感じられた。本校高等学校へ進学する
卒業生は、これまでと同じように通学し、同じような生活環境のなかで、
高校生活を始めることになる。環境変化のストレスは少ないだろうが、
他方、環境が変わることで心機一転、気持ちが引き締まるということも
ある。

卒業生にはぜひ、この機会にこれからの 3 年間に向けての、心と体のリ
セットをお願いしたい。そしてフレッシュな気持ちで春からの新たな生
活のスタートを切ってもらいたい。

中学 18 期生の今後の活躍を期待している。



■ 平成 31 年度 入学式 ■

4 月 5 日金曜日、午前に高等学校第 40 回、午後に中学校第 21 回の入学式が、
本校体育館で挙行された。穏やかな春の日差しの中、高等学校は節目の
40 期生を迎えた。新入生はみな堂々と入場し、式に臨んだ。新入生
代表の言葉には、本校を選んだ理由とともに、これからの高校生活に
対する強い決意と希望が満ちていた。

式後、いささか恥ずかしそうに保護者とともに記念撮影をする姿が、
なんとも微笑ましかった。

午後は、中学 21 期生の初々しい入学式が行われた。真新しい制服に
身を包んだかわいらしい新入生たちが、大きな声で担任の呼名に
応えていた。新入生誓いの言葉では、理科教育に対する期待を述べ
るとともに、これからの学校生活を充実したものにしたとの誓いを
立てた。

式後は春の嵐に見舞われ、記念撮影もままならない状況であったが、
みな晴れ晴れとした表情であった。

新入生には、この日の清冽な気持ちを忘れずに、大いに活躍して、
本校での学校生活を実りあるものにしてもらいたい。学校の主役は
あなたたちなのだから。



あとがき

緑と実り、自然の恵み、抱かれて建つ
白い学び舎——と謳われる本校は、増
尾城址公園だけでなく、校内にも様
々な花木が私達と共に生活してい
る。表紙は体育館脇の桜。中庭の
花水木や紅葉、ドウダンツツジ
も、美しい花を咲かせている。春
の小さな物語に、目と耳をしばし
楽しませてみる。

